

大島四百年誌刊行記念展示

「写真から見る大島の歴史」を
開催しています

文書館では、「大島四百年誌」(編纂・発行:
大島四百年誌編纂委員会)の刊行を記念して企
画展示を行っています。(会期は12月21日まで)
この機会に、ぜひお出かけください。



写真: 謄写版印刷の機関誌「大島青年」

「大島青年会」が結成されたのは、明治28(1895)年
で、大島の青年は、巡回文庫や機関誌の発行など
様々な事業を展開しました。今回の展示では、大戦後
再結成された「大島青年団」の所蔵本と、機関誌の一
部も併せて展示を行っています。

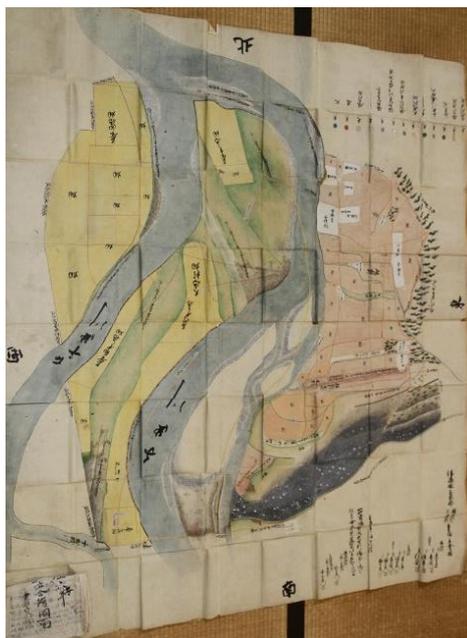


写真: 宝暦の村絵図

宝暦6(1756)年作成の大島村絵図で、縦181cm、横
156cm。大島の史料は、現在は公会堂に隣接する土
蔵の中の収納庫に保管され、自治会が管理していま
す。収納文書は1,000点を数え、村絵図も相当数が確
認されますが、その中でも特に大きく美麗であるため、
『大島四百年誌』のグラビアに採用されました。松川や
千曲川の流れなど、近世中期の河川の状況が分か
り、また、大島のみならず飯田集落も描かれており、貴
重な史料となっています。

「地域誌の刊行について -大島四百年誌を中心に-」 文書館ワークショップを開催します

「大島四百年誌」の編纂主筆を務められた小林暢雄
さんを講師に、地域誌の刊行に携われた経験をもとに、
大島四百年誌に紹介された新田開発に係る「島津文書」
(町宝)をはじめとする数々の史料に対する解説を交え
ながら、地域の歴史についてお話をさせていただきます。

受講料は無料、申込みも不要です。
どうぞお気軽にお出かけください。

日時 8月3日(土) 午後6時30分~8時
会場 小布施町公民館3階 講堂
講師 郷土史家・大島四百年誌編纂委員会
編纂主筆 小林暢雄さん



写真: 文書で唯一町宝に指定されている
「島津文書」
(うち1点 慶長16年の屋地開発文書)